記者発表資料

平成２３年１２月２７日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

新庄河川事務所2011（平成23）年10大ニュース

新庄河川事務所では、所内アンケートに基づき、２０１１（平成２３）年１０大ニュースをとりまとめましたのでお知らせします。

１０大ニュースは下記のとおりです。（詳細は別添をご覧ください）

１位：3.11東日本大震災発生、被災地へ職員・機材等を派遣、様々な影響も
２位：濁沢川で大規模な深層崩壊発生、緊急対策、無人化施工も
３位：記録的豪雨で出水相次ぐ、河岸崩壊多発
４位：高度技術支援で近畿地方整備局等へ職員派遣
５位：河川改修に大幅予算、築堤整備進捗
６位：鮭川流域２町１村で大規模土砂災害危機管理演習
７位：洪水備え水防技術講習会、こども園で避難訓練
８位：地元待望の荒沢トンネル、赤砂川取水ポンプ等完成
９位：赤川砂防・消流雪用水等の事業評価で継続承認
10位：鳥海山火山噴火緊急減災砂防計画検討委員会

＜発表記者会：山形県政記者クラブ＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町５－５５
ＴＥＬ：０２３３－２２－０２５１（代）
副 所 長　　高橋（たかはし）　孝男（たかお）　（内線２０４）

所内アンケート調査に基づく

新庄河川事務所
2011(平成23)年10大ニュース

1位
3.11東日本大震災発生、被災地へ職員・機材等を派遣、様々な影響も ＜3～6月＞

■石巻市及び女川町に災害対策現地情報連絡員(リエゾン)派遣 ■照明車・排水ポンプ車派遣 ■仙台河川国道、北上川下流河川に職員派遣 ■節電・計画停電実施 ■工事の中断・中止・完成延期も









2位
濁沢川で大規模な深層崩壊発生、緊急対策、無人化施工も ＜5～12月＞

■190万m3の崩落土砂が1.5km流下、既設砂防堰堤の効果発揮 ■河道・斜面を集中監視、緊急対策を実施 ■崩落直下は無人化施工







3位
記録的豪雨で出水相次ぐ、河岸崩壊多発 ＜5～9月＞

■6月に管内9箇所で日最大雨量を更新 ■舟形町実栗屋地区で河岸崩壊 ■鮭川で堤防法面崩落 ■羽黒山神社で崩壊・地すべり

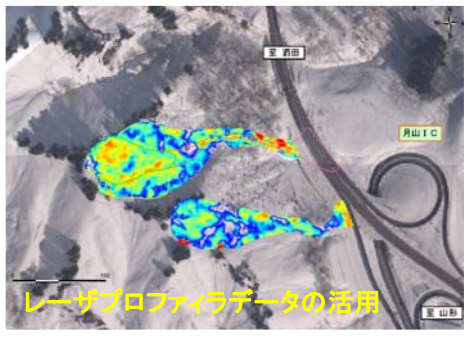






4位
高度技術支援で近畿地方整備局等へ職員派遣 ＜3・9月＞

■国道112号で発生した雪崩対策で技術的助言、レーザプロファィラデータを活用
■台風12号により近畿地方で発生した土砂ダム対策のため緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)派遣







5位
河川改修に大幅予算、築堤整備進捗

■H22補正・H23予算で大向・白鷺(大石田町、尾花沢市)、鶴の子(新庄市)の整備が大幅に進捗 ■大石田出張所管内で堤防整備率100%達成 ■庭月堤防(鮭川村)が暫定堤から完成堤へ







6位 鮭川流域2町1村で大規模土砂災害危機管理演習 ＜11月15日＞

■鮭川流域で地震による土砂ダム形成を想定 ■2町1村、県、気象台、自衛隊、マスコミなど13機関161名が参加







7位 洪水備え水防技術講習会、こども園で避難訓練 ＜7・9月＞

■真室川防災ステーションで水防団員200名と10年ぶりに講習会開催 ■真室川町たんぽぽこども園で避難訓練、課題抽出









8位 地元待望の荒沢ﾄﾝﾈﾙ、赤砂川取水ﾎﾟﾝﾌﾟ等完成 ＜12月＞

■荒沢トンネルなど県道1,060mが供用(鶴岡市) ■赤砂川からの用水安定供給(大蔵村) ■石跳川砂防堰堤群完成(西川町)

9位 赤川砂防・消流雪用水等の事業評価で継続承認 ＜11月＞

■事業評価監視委員会、最上川水系流域委員会で審議 ■河川改修・豊牧地区地すべり対策事業も継続承認

10位 鳥海山火山噴火緊急減災砂防計画検討委員会 ＜12月＞

■鳥海山噴火に伴う土砂災害の軽減を目的とした計画策定の初会合を開催

次点 多自然川づくり技術発表会で最優秀賞受賞 ＜11月＞

■東北ブロック会議で「環境保全ポケットブック」の取り組みを発表